

第 115 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 2 年 11 月 19 日（木）午後 1 時 30 分
 - 2 場 所 ホテルニューとみよし 会議室（熱海市下多賀 1472-1）
 - 3 委員総数 10 名、出席委員数 8 名、欠席委員数 2 名
- 出席委員：館石晃一、白井萌以、深田真弓、富岡久和、川口正樹、宮下睦史、齋藤早紀、さいとう真由美

欠席委員：高橋祐介、石田浩二

放送局側出席者 富岡篤美、山崎浩一、金井周平

- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。

5 議事

（1）委員選出、委員長、副委員長選出

委員長の西海裕代さんが熱海商工会議所を退職につき、白井萌以さんが委員に選出された。今回改めて委員の中から委員長、副委員長の選出をはかったところ、委員長に館石晃一さん、副委員長に白井萌以が選出されました。

（2）番組へのご意見

◆対象番組：『8月30日（日）Ciao!防災特別番組 熱海市総合防災訓練』

○委員からの意見

- ・千葉の台風災害などを見ても、緊急事態が起きた時に地元の細かい情報を伝達できるのがラジオの強みだと思う
- ・普段から聴いてもらえるような環境づくりが大切
- ・避難所のコロナ対策なども入っていて安心して聴ける
- ・全体的に訓練だということが伝わっているのが良かった
- ・緊張感が伝わるような番組だった
- ・避難所の運営訓練など、訓練に参加していない人、現場に居ない人が聴いた人が参考にしてもらえれば防災意識の向上にもつながる
- ・FM局の社内防災訓練を聴いてもらうことは、実際の災害発生時の対応が理解されて良い
- ・熱海市の防災訓練の様態を湯河原や真鶴のリスナーが聴いたときにどう思うかが気になった
- ・防災の面に特化するならレポート中継を短くし、訓練に参加出来ない人向けに災害発生時の各種対応を放送したほうが防災への動機付けになるのでは
- ・パーソナリティーが落ち着いて災害時に取るべき行動のコメントを繰り返し伝えていたのが良かった
- ・FM局の社内防災訓練の内容を詳しく伝えているので、他の様々な業種の会社でもやるべき防災対策を考えるきっかけになるのでは
- ・避難所に実際行ったことがない人には抵抗がある。年齢や性別、ペットなど、避難所での対応を細かく説明してもらえると災害時に役に立つのでは。
- ・熱海市の防災訓練と FM局の社内防災訓練との連携が良く分かった。

- ・実際に災害が起こった場合をシュミレーションし防災意識を高めるのに有意義な放送

- ・緊急連絡カードの話があったので、実際に作ろうと思った

- ・ハンディ無線機とは？

《局から回答》

⇒トランシーバー型のアマチュア無線機です

- ・パーソナリティーが話す時は BGM を使わず緊張感があり訓練ということがわかりやすい

- ・トーク間で流れる優しい BGM は災害時に心が安らぐのでは

- ・行政の防災訓練時に電話緊急割込放送で情報発信をしたが、初めてオンエアを聴いた。想像していたよりはっきりと声が聴こえていて驚いた

- ・防災訓練の進行上仕方ないかも知れないが、優先順位としては避難所の状況よりも、収集した被害状況の情報を先に入れた方が良いのでは？

- ・訓練放送を積み重ね検証し、災害時にタイムリーな情報を伝えるコミュニティーFM としての役割りを作り上げてほしい

- ・コロナウイルスの話題ばかりで地震や津波などの災害に対する意識が埋もれてしまっている中、あらためて防災への意識を向けてもらう有意義な番組

6 その他（局から報告）

- ・2020 年末特番企画説明

- ・希望者のみ下多賀中継局を現地視察した

7 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

今回は、令和 3 年 1 月 21 日（木）に湯河原町内で開催することになった。